



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業として地球環境保全の取り組み～

環境大臣 伊藤信太郎 殿

2024年4月10日

株式会社ベネッセコーポレーション
代表取締役社長 小林仁

環境問題は、地球規模で重要な課題であり、環境活動を積極的に推進することは企業の果たすべき義務と考えます。当社の企業理念である「Benesse=よく生きる」を実現する上でも、「環境」を経営の重点課題の一つと位置づけ、教育を軸とする当社の事業特性に合わせて積極的に推進します。

1. 脱炭素社会の構築を目指し、以下の取組を推進します。

①スコープ1+2について、2021年5月にSBTi (Science Based Targets initiative) より認定を受けた「Well-Below2°C水準」目標を「1.5°C」目標に更新し、2022年9月再認定されています。

■2018年を基準としたスコープ1,2削減率
2030年52.8% 2041年100% 2050年100% ※毎年4.4%

②スコープ3に対しては、「2°C」目標に沿って、2018年を基準年とした2030年、2050年に向けた削減目標を立てています。

■2018年を基準としたスコープ3削減率
2030年14.8% 2050年39.4% ※毎年1.23%

■商品・サービスのデジタル化推進による紙使用量の削減
提供する進研ゼミでは、開講より紙を使った教材を提供して参りましたが、1999年にインターネットを利用した「進研ゼミ中二講座チャレンジネットコース」を開講。以来、お客様一人ひとりのニーズに寄り添うデジタル教材を提供してきました。近年はデジタル教材を選択される比率が上がっていることにより、紙資源の削減につながっています。2022年4月現在のデジタル講座の比率は「小学講座」「中学講座」で約7割となっています。また、従来郵送で対応していた「赤ペン先生の問題」の提出・返却をデジタル上で行えるため、期間の短縮と共に輸送時のCO2排出量削減にも貢献しています。2020年に発生した新型コロナウイルス対応時には、在宅学習に活用いただけるオンライン学習コンテンツを多数ご提供いたしました。今後も子どもたちの学習効果を高めながら事業を通じ環境負荷削減へ貢献して参ります。

■商品・サービスの輸送によるCO₂排出量の削減
<こどもちゃれんじ>「進研ゼミ」などの商品・サービスの長距離輸送（500km以上）においてCO₂排出量の少ない貨物鉄道輸送を積極的に使うモーダルシフトに取り組んでいます。長距離輸送の約6割以上を貨物鉄道輸送にしていることから、2020年3月に「エコレールマーク」認定企業に選ばれています。輸送におけるエネルギー使用を削減するために、商品の送付パッケージを極力無駄のないよう設計したり毎月運送会社様へ個数や容量予測を提供して、無駄のないコンテナやトラックの利用を進めています。

③気候変動及び生物多様性への対応に関するイニシアティブの参加

- ・「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」に賛同
日本国内の教育事業者として初めて、2019年7月に賛同を表明
TCFDに沿った情報開示は2021年より実施
- ・国連グローバルコンパクトへの参加
- ・温室効果ガス排出量削減目標においてSBTiイニシアティブ認定を取得
- ・経済産業省GX（グリーントランスフォーメーション）基本構想への賛同とGXリーグ参画
- ・国土交通省「ホワイト物流」推進運動への賛同
- ・環境省デコ活への賛同
- ・TNFD賛同し、TNFDフォーラム参画、TNFDアーリーアダプター登録
- ・経団連生物多様性宣言イニシアチブ賛同

2. 循環経済社会の実現に向けた取り組みを、積極的に推進します。

①未来を生きる子どもたちに美しい地球を残すための<学習専用タブレットリユース>促進

未来からの留学生である子どもたちに美しい地球環境を残すために環境保全活動を推進しています。

「進研ゼミ」では、<学習専用タブレット>のリユース活用を推進することで、石油や希少金属などの地球資源の使用量を抑制します。また、製造によって発生するCO2の発生を抑えます。この活動を通して、環境保全をめざしています。

<学習専用タブレット>1台をリユースすることで、年間約42.5~46.5kgのCO2排出の回避効果があると試算しており、杉の木5本強が1年間に吸収するCO2排出を回避することができます。顧客の理解を深め、より多くの顧客に賛同を得ながら今後さらなるリユース率向上に取り組んで参ります。

②くるくるリサイクル

2010年から<こどもちゃれんじ>の使い終わった玩具教材をお持ち頂き、リサイクルしています。回収された玩具教材は油に再処理してエネルギーとして再利用しています。お子様にとって楽しみながら環境について学ぶ機会にもなっています。

3. 環境教育への取組を積極的に推進します。

①商品・サービスを通じた環境教育実施

- ・発達段階に合わせた、就学前のお子様向けの環境コンテンツ提供<こどもちゃれんじ>
- ・学習指導要領に準じた環境コンテンツ提供「進研ゼミ」小中高校講座 など

②おやこでエコチャレンジ！

持続可能な社会の実現に向けて「自分たちに何ができるのか」を考える機会を通じて、子どもたちの探究心や学ぶ姿勢を育てていくものです。「こどもちゃれんじ」会員向けのしまじろう新聞環境特別号やWebサイト上での、リサイクルや食品ロスの問題についてのクイズ、協賛企業が行う取り組み事例を通して、親子で環境問題やエコについて会話したり、行動に移したりするきっかけを提供します。

③まみむめもったいない！しまじろうのわお！

毎日ふれる紙やおもちゃ、水など身近な物や場所に隠れている「もったいない」を親子で発見し、幼児にもわかりやすい手法で物を大切にすることを自然に育む「まみむめもったいない」キャンペーンを展開。全国約2万の保育園、幼稚園やこども園にも紙芝居を無償提供するなど、連携を広げて実施しました。

④環境をテーマにしたコンクールの開催

- ・全国小学生「未来」をつくるコンクール 環境部門~環境活動を支援する
- ・高校生環境小論文コンクール など

⑤「未来をつくるSDGsナゾ解き 勇者の冒険と国の秘密」

子どもたちがSDGsについて楽しく学びながら、未来の世界に目を向けられるきっかけを提供するプロジェクトです。子どもたちが思わず「知りたくなる」「やってみたくなる」コンテンツを通じて、環境問題など世界の抱える問題に気付ける創造力や、解決にむけて主体的にはたらきかけることのできる行動力を育てていきます。

⑥全社環境DAY及び環境WEB研修の実施

FY2023ベネッセグループサステナビリティ活動 変革朝礼「環境DAY」として、今年度より全グループ従業員に拡大して開催しました。有識者の講演やグループ内の事例紹介など、グループ会社の理解を深め取り組みに向けてマインドアップを図りました。実施後の総括ではアンケート結果で参加者の97%の理解度が高まり、モチベーション向上にもつながっています。その後、全従業員を対象に「環境WEB研修」を実施しました。

4. そのほか環境保全に係るもの。

①ISO14001認証取得

環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を2004年に取得しています。ベネッセグループの環境方針ならびに活動指針に基づき、事業活動において、環境に配慮した商品・サービスをお届けし、事業活動での環境負荷削減に取り組んでいます。また、環境教育を推進し、環境問題の理解や環境配慮行動ができる人財を増やすことを目指しています。

株式会社ベネッセコーポレーションは、上記の取り組みの進捗状況を確認し、その結果として事業レポート、及びホームページなどで定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。